

先週くらいから気温も上がり、やっと夏らしくなってきたドイツです。コロナで2年間開催中止となっていたスプリングフェスティバルも3年振りの開催で大賑わいです。

今年の3月から文化庁の一部が京都へ移転したとのニュースを知りました。神社・仏閣の多い京都には最適な立地と思います。他にも30件以上の省庁地方移転の計画案があるようですが、国会質疑対応を理由とする官僚を中心に反対意見が強く実現しないようです。

ドイツでは首都ベルリンに国会議事堂、首相官邸などがありますが、それ以外の各都市にもさまざまな省庁があります。今回はそんな首都以外にある省庁をご紹介します。



国会議事堂



首相官邸

ケルン郊外ブリュールに建つアウグストゥスブルグ城は外国からの賓客を迎えるドイツの迎賓館です。以前エリザベス女王もドイツ訪問時に宿泊されました。また省庁ではありませんが有名なケルン大聖堂もドイツカトリック教会の総本山的存在です。



迎賓館



ケルン大聖堂

南ドイツのカールスルーエには連邦裁判所があります。最高裁判所です。一方北のフレンズブルグには交通違反のポイントを管理する機関があります。



連邦裁判所



交通違反管理センター

オクトーバーフェストで有名なミュンヘンには特許庁があります。さらに欧州特許機構もあるので同市ではドイツのみならず欧州の特許・商標も管理しています。



欧州特許機構



ドイツ 特許庁

スイス国境に近いフライブルグは先進的な環境政策が国内外から高く評価され環境首都と呼ばれています。有名な黒い森地方も近く、この森林資源の劣化を防ぐ取り組みがさまざまな環境保護政策の策定に繋がったようです。松山市と姉妹都市です。

ドイツではありませんがライン河の対岸フランスのストラスブールには欧州議会があります。ドイツとフランスで7回も領有権が往復した歴史を持つ同市に今日、両国のみならず欧州全体の平和の象徴として欧州議会が置かれているのです。



最後に私の住むフランクフルトもご紹介いたします。

人口 70 万人とそれほど大きくはありませんが、古くフランクフルト大聖堂において神聖ローマ帝国の皇帝戴冠式が開催される習慣でした。空港はドイツで一番大きくここから直接行けない欧州の都市はないくらいです。ドイツの主要銀行のほとんどすべてが本店を構え、さらに欧州中央銀行本店もあります。最近成績の振るわないドイツのサッカーチームですがドイツのサッカー協会本部もフランクフルトにあります。

ドイツのほぼ中央に位置して、鉄道・道路・航空アクセスも抜群のフランクフルトは 1949 年の当時西ドイツ設立に際して暫定的首都候補にあがっていましたが、しかし首都としての条件が揃いすぎていた為、将来東西が再統一した際にベルリンへの遷都が難しくなると予想したドイツ人は小さな大学都市、ボンを暫定首都に選定したのでした。



欧州中央銀行



サッカー協会本部・合宿所

あれほど蜜月だったドイツとロシアですが、お互いに 3 - 4 箇所あった領事館を一か所に制限、外交官の退去など国交断絶寸前となりました。エネルギーのロシア依存が 50%を超えていたドイツは絶対に中立なはずだ、とのプーチンの希望的予測はアメリカ、ノルウェーなどからの代替輸入が機能してはずれました。日本からもトラックを輸送したとのニュースがありました。一日も早いロシアの撤収を願うばかりです。